

編集後記にかえて

水 島 裕 雅

鹿児島県のアマチュア天文家が見つけた百武(ひゃくたけ)彗星が今年の三月二十五日に地球に最接近した。かつては彗星が出ると不吉なことが起こるとして恐れられたものであったが、いまではかなり以前から見つけられ、その軌道も予測されるようになった。この彗星が前回地球に接近したのは八千年前であって、次回に近付くのは一万四千年後であるという。物見高い人間でなくても、もう次回には見られないこの宇宙のシヨウ(?)を見過ごす手はない。そこで小生も近くの回りが暗くなる場所を探して家族とともに彗星を見物に出かけることにした。

ところが五日市の真中では、なかなか暗いところを見つけないのが容易ではない。いろいろ探したあとで、やって五日市漁港の突堤がよさそうだということになり、そこに着いたのは夜の十時ちかくであった。

北斗七星の柄杓の柄に近いところと聞いていたのでそのあたりを探してみると、肉眼でもぼーっとぼやけた星が、しかし北斗七星の明るさにも負けず明るく光っていた。手持ちの望遠鏡や双眼鏡で見てもぼやけているのがほかの星と違うだけのことであったが、一期一会という言葉を思い浮かべ、しばし見つめていた。

今年の七月、広島芸術学会は、前身の広島芸術学研究会時代も含めると、ちょうど創立十周年を迎えることになる。これまでにさまざまな優

れた発表や楽しい行事が行われ、多くの人々との出会いがあった。これからもこの学会が末長く続き、一期一会の気持ちを忘れずに多くの人々との出会いを楽しみたいと思う。

本号掲載の寺本、西村、石丸、邱の四氏の論文は、本学会の大会、例会における口頭発表に基づくものである。なお、今年は当会の創立十周年に当たるので、これまで代表委員をつとめてこられた金田晋氏に巻頭言をいただいた。(みずしま・ひろまさ 広島大学)

藝術研究

第九号

頒価一五〇〇円

平成八年七月十五日 印刷
平成八年七月十六日 発行

編集 廣 島 芸 術 学 会

〒739 東広島市鏡山一七七一
広島大学総合科学部比較文化研究室気付
TEL 〇八二四一二四一六三三五
or 六三三〇

印刷 柏 村 印刷 株式会社
〒730 広島市中区国泰寺町二一五二七
TEL 〇八二一四六一八〇〇〇